

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月29日

上場会社名 富士物流株式会社
 コード番号 9061 URL <http://www.fujiburyu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 道男
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 樋口 祐二郎
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日

上場取引所 東

TEL 03-5476-8672

平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	20,600	—	475	—	447	—	176	—
20年3月期第2四半期	20,091	△0.5	414	45.6	396	41.8	129	16.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	7.22	—
20年3月期第2四半期	5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	26,415	11,282	—	—	42.0	455.09
20年3月期	28,169	11,248	—	—	39.3	453.72

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 11,103百万円 20年3月期 11,072百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	1.5	1,050	△16.8	1,000	△17.5	490	1.8	20.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	24,970,000株	20年3月期	24,970,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	572,040株	20年3月期	566,779株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	24,400,391株	20年3月期第2四半期	24,407,660株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なる事があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用会計指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

日本経済は、アメリカでのサブプライム問題に端を発した金融危機が大手証券会社の経営破綻、最大手保険会社の公的救済など深刻さを増し、国際的な金融情勢の不透明感、世界経済の先行き不安がおよぼす影響が懸念されております。また、依然として原油などの資源価格が高止まり、収益悪化を懸念した企業が設備投資を控えはじめると、国内外の動向を受け、景気の減速傾向は強まっております。

物流業界におきましては、企業間競争が激化する中、国内貨物輸送量は依然として減少傾向が続くと予想されます。また、燃料価格の高騰も続いており、物流業界を取り巻く状況はさらに厳しいものとなっております。

このような中、当社グループは、平成18年6月に発表いたしました中期経営計画（平成18年度～平成20年度）の最終年を迎え、「3PLのリーディングカンパニーとなる」という長期ビジョンの実現に向け、お客様にご満足いただける物流サービスを提供し、業容の拡大に積極的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

営業収益は、206億円（対前年同期比2.5%増）となりました。

一般顧客向けの営業収益は、103億8百万円（対前年同期比0.6%減、構成比50.0%）となりました。精密機器関連の大口3PLを新たに受注いたしました。また、外装建材のサンプル品の3PLやATMの取扱高が増加いたしました。工業用ミシン、チップマウンターおよびエレベータ関連の取扱高や半導体用検査機器の取扱高の減少などにより横ばいとなりました。

富士電機グループ向けは、102億91百万円（対前年同期比5.9%増、構成比50.0%）となりました。前期において出荷の端境期のため低調であった発電変電プラントの取扱高は復調いたしました。また、磁気記録媒体、感光体およびインバータなどの制御機器の取扱高は堅調に推移いたしました。自動販売機関連は低調に推移いたしました。

営業利益は、4億75百万円（対前年同期比14.7%増）となりました。首都圏の営業拠点の集約に伴う倉庫賃借料などの圧縮、トヨタ生産方式（TPS）を基本とした業務効率化が寄与し、営業利益は増加いたしました。

経常利益は、営業利益の増加に伴い、4億47百万円（対前年同期比12.9%増）となりました。

四半期純利益は、1億76百万円（対前年同期比36.1%増）となりました。前年同期に比べ特別損失の計上が減少したことおよび営業利益の増加に伴い、増益となりました。

＜顧客グループ別の連結営業収益実績＞

(単位 百万円)

顧客	平成20年3月期第2四半期 (累計)		平成21年3月期第2四半期 (累計)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
一般顧客	10,369	51.6	10,308	50.0	△60	△0.6
富士電機グループ	9,722	48.4	10,291	50.0	569	5.9

＜セグメント別の連結営業収益実績＞

(単位 百万円)

	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	増減	増減率(%)
国内物流事業	16,000	15,792	△208	△1.3
その他事業	4,091	4,807	716	17.5

(注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。前年同四半期の金額および増減率は参考として記載しているものであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産額は264億15百万円となり、前期末に比べ17億53百万円減少しました。これは主に、受取手形及び営業未収入金、支払手形及び営業未払金の減少ならびに短期借入金の減少によるものです。

連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、17億54百万円となり、前期末より5億44百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は4億44百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4億5百万円ならびに減価償却費4億8百万円により増加いたしました。法人税等の支払により3億16百万円減少したことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は3億85百万円の支出となりました。主な内訳は、物流センター内設備等の購入によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億96百万円の支出となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による減少5億4百万円ならびに配当金の支払による減少1億21百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期実績に対しては増収増益となったものの、景気動向の悪化による貨物量の減少の影響により、当初の業績予想に対しては営業収益、営業利益、経常利益、四半期利益ともに未達成となりました。

当連結会計年度の業績（通期）につきましては、第2四半期以降の貨物量の減少がさらに進行することが予想されます。営業収益の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益も前回予想（平成20年4月25日発表）を下回る見通しであります。なお、利益面につきましては、今後もトヨタ生産方式（TPS）を基本とした業務効率化を推進し業績向上に努めてまいります。

当第2四半期の業績および今後の景気動向を踏まえ、平成20年10月29日付で当初の業績予想を修正いたしました。通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

<通期連結業績予想>

(単位 百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期 連結業績予想	増減金額	増減率(%)
営業収益	41,871	42,500	628	1.5
営業利益	1,261	1,050	△211	△16.8
経常利益	1,212	1,000	△212	△17.5
当期純利益	481	490	8	1.8

	平成21年3月期 連結業績予想 (H20.4.25発表)	平成21年3月期 連結業績予想 (H20.10.29発表)	増減金額	増減率(%)
営業収益	45,000	42,500	△2,500	△5.6
営業利益	1,400	1,050	△350	△25.0
経常利益	1,350	1,000	△350	△25.9
当期純利益	650	490	△160	△24.6

<過去3カ年の連結業績および業績予想>

(単位 百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期 連結業績予想
営業収益	39,555	41,488	41,871	42,500
営業利益	620	973	1,261	1,050
経常利益	597	938	1,212	1,000
当期純利益	220	438	481	490



「フジバックン」は、富士物流のキャラクターです

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ◎当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ◎たな卸資産の評価基準及び評価方法
たな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益への影響はありません。
 - ◎「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用
第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	877,873	986,167
受取手形及び営業未収入金	10,741,407	11,585,573
預け金	876,563	1,312,849
その他	1,302,266	1,463,039
貸倒引当金	△7,780	△8,182
流動資産合計	13,790,330	15,339,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,990,106	4,066,772
土地	5,150,033	5,150,033
その他(純額)	699,107	714,163
有形固定資産合計	9,839,246	9,930,969
無形固定資産		
のれん	183,349	197,453
その他	518,725	555,099
無形固定資産合計	702,075	752,553
投資その他の資産		
その他	2,084,699	2,147,123
貸倒引当金	△600	△800
投資その他の資産合計	2,084,099	2,146,323
固定資産合計	12,625,421	12,829,845
資産合計	26,415,751	28,169,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,138,624	6,955,539
短期借入金	2,668,403	3,088,333
未払法人税等	199,961	346,713
役員賞与引当金	14,075	20,720
その他	1,422,985	1,702,872
流動負債合計	10,444,049	12,114,178
固定負債		
長期借入金	2,214,560	2,264,166
退職給付引当金	2,197,640	2,216,109
その他	277,166	326,387
固定負債合計	4,689,366	4,806,662
負債合計	15,133,416	16,920,840

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,675	2,979,675
資本剰余金	2,595,322	2,595,317
利益剰余金	5,627,005	5,572,908
自己株式	△115,894	△114,187
株主資本合計	11,086,108	11,033,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,431	△14,336
為替換算調整勘定	39,705	52,826
評価・換算差額等合計	17,273	38,489
少数株主持分	178,952	176,248
純資産合計	11,282,335	11,248,452
負債純資産合計	26,415,751	28,169,293

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業収益	20,600,134
営業原価	18,596,515
営業総利益	2,003,619
販売費及び一般管理費	1,527,873
営業利益	475,745
営業外収益	
その他	23,417
営業外収益合計	23,417
営業外費用	
支払利息	31,451
為替差損	12,728
その他	7,503
営業外費用合計	51,683
経常利益	447,479
特別損失	
投資有価証券評価損	23,488
倉庫移転損	18,566
特別損失合計	42,054
税金等調整前四半期純利益	405,425
法人税、住民税及び事業税	177,716
法人税等調整額	45,142
法人税等合計	222,858
少数株主利益	6,453
四半期純利益	176,113

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	405,425
減価償却費	408,503
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△18,469
受取利息及び受取配当金	△5,166
支払利息	31,451
売上債権の増減額 (△は増加)	827,493
仕入債務の増減額 (△は減少)	△748,451
その他	△113,457
小計	787,329
利息及び配当金の受取額	5,393
利息の支払額	△31,769
法人税等の支払額	△316,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△315,925
無形固定資産の取得による支出	△67,262
その他	△1,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△385,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000
長期借入れによる収入	54,560
長期借入金の返済による支出	△504,201
自己株式の取得による支出	△1,715
配当金の支払額	△121,577
その他	△3,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	△596,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,366
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△544,580
現金及び現金同等物の期首残高	2,299,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754,436

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位 千円）

	国内物流	その他	計	消去又は全社	連結
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業収益	15,792,222	4,807,912	20,600,134	—	20,600,134
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	25,684	25,684	(25,684)	—
計	15,792,222	4,833,596	20,625,818	(25,684)	20,600,134
営業利益	389,182	87,297	476,479	(733)	475,745

（注）事業区分は営業収益の集計区分によっております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦の営業収益は、全セグメントの営業収益の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は、連結営業収益の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

【参考資料】
前年同四半期にかかる財務諸表
(1) 中間連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 〔自平成19年4月1日〕 〔至平成19年9月30日〕	
		金 額	百分比
			%
I 営業収益		20,091	100.0
II 営業原価		18,158	90.4
営業総利益		1,933	9.6
III 販売費及び一般管理費		1,518	7.5
営業利益		414	2.1
IV 営業外収益		32	0.2
1. 受取利息及び配当金		5	
2. その他		26	
V 営業外費用		50	0.3
1. 支払利息		31	
2. その他		19	
経常利益		396	2.0
VI 特別損失		65	0.4
1. 倉庫移転損		61	
2. 固定資産廃却損		4	
税金等調整前中間純利益		330	1.6
法人税、住民税及び事業税		137	0.7
法人税等調整額		53	0.3
少数株主利益		9	0.0
中間純利益		129	0.6

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間
		〔自 平成19年4月1日〕 〔至 平成19年9月30日〕
		金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
	税金等調整前中間純利益	330
	減価償却費	421
	退職給付引当金の増減額	△91
	受取利息及び受取配当金	△5
	支払利息	31
	売上債権の増減額	853
	仕入債務の減少額	△489
	その他の	△73
	小 計	975
	利息及び配当金の受取額	5
	利息の支払額	△29
	法人税等の支払額	△406
	法人税等の還付額	0
	営業活動によるキャッシュ・フロー	544
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
	投資有価証券の売却による収入	0
	有形固定資産取得による支出	△129
	有形固定資産売却による収入	0
	無形固定資産取得による支出	△97
	その他の	82
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△144
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
	短期借入金の純増減額	230
	長期借入金の返済による支出	△104
	社債の償還による支出	△50
	配当金の支払額	△121
	その他の	△4
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△50
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	20
V	現金及び現金同等物の増減額	369
VI	現金及び現金同等物の期首残高	2,579
VII	現金及び現金同等物の中間期末残高	2,949

6. その他の情報

該当事項なし

9061 富士物流株式会社 2009年3月期第2四半期決算短信(連結) 2008/4~2008/9

(単位: 百万円)

	第1四半期		第2四半期		第2四半期(累計)			年 間	
	08.3月期 (07.4~ 07.6)	09.3月期 (08.4~ 08.6)	08.3月期 (07.7~ 07.9)	09.3月期 (08.7~ 08.9)	08.3月期 (07.4~ 07.9)	09.3月期 (08.4~ 08.9)	増 減	08.3月期 (07.4~ 08.3)	09.3月期 (08.4~ 09.3)
	実績	実績	実績	実績	実績	実績		実績	業績予想
営業収益 (百万円)	10,068	10,402	10,023	10,197	20,091	20,600	508	41,871	42,500
一般顧客 (百万円)	5,077	5,115	5,291	5,192	10,369	10,308	△60	21,577	21,800
(構成比) (%)	50.4	49.2	52.8	50.9	51.6	50.0	△1.6	51.5	51.3
富士電機グループ (百万円)	4,990	5,286	4,731	5,004	9,722	10,291	569	20,294	20,700
(構成比) (%)	49.6	50.8	47.2	49.1	48.4	50.0	1.6	48.5	48.7
営業利益 (百万円)	231	323	183	152	414	475	61	1,261	1,050
経常利益 (百万円)	226	306	170	141	396	447	51	1,212	1,000
当期(四半期)純利益 (百万円)	107	127	21	49	129	176	46	481	490
1株当たり当期(四半期)純利益 (円)	4.41	5.21	0.89	2.01	5.30	7.22	1.92	19.72	20.08
1株当たり当期(四半期)配当額 (円)	—	—	—	—	4.00	4.00	0.00	9.00	9.00
総資産額 (百万円)	28,347	27,185			28,144	26,415	△1,728	28,169	
純資産額 (百万円)	10,959	11,220			11,003	11,282	279	11,248	
自己資本比率 (%)	38.1	40.6			38.5	42.0	3.5	39.3	
1株当たり純資産額 (円)	442.56	452.63			444.12	455.09	10.98	453.72	
利益剰余金 (百万円)	5,296	5,577			5,318	5,627	308	5,572	
有利子負債 (百万円)	6,457	5,413			6,316	4,882	△1,433	5,352	
営業CF (百万円)	11	△180			544	444	△100	1,246	
投資CF (百万円)	△90	△177			△144	△385	△240	△421	
財務CF (百万円)	91	△64			△50	△596	△545	△1,112	
現金同等物 (百万円)	2,593	1,848			2,949	1,754	△1,195	2,299	
設備投資額 (百万円)	79	131			275	294	19	577	
減価償却費 (百万円)	208	199			421	408	△13	864	
従業員数 (人)	1,036	1,057			1,039	1,062	23	1,035	

- 注1. 業績予想に関しましては、2008年10月29日に業績予想の修正について発表いたしました。
2. 1株当たり当期純利益の算出にあたり、予想値については2008年3月期の期末発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。
3. 業績予想については、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。
4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しており、前年同四半期の金額は参考として記載しているものであります。

